

(一般質問)

質問日	令和6年12月10日(火)		質問方式	分割方式			
質問順位	7	会派名	自由民主党浜松	議席番号	27	氏名	齋藤 和志
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 災害リスクマネジメントについて	地震や気候変動によって台風・豪雨が大規模化する自然災害のリスクが急速に高まってきている。そして、様々な理由で厳しい状況にある「取り残された被災者」がいる。また、地震により、造成宅地滑動崩落や宅地液状化が発生している現状において、造成宅地滑動崩落の対策、そして宅地液状化被害軽減を目的とした「リスクコミュニケーション」の推進等が不可欠である。 そこで、以下伺う。 (1) 災害ケースマネジメントの取組みについて伺う。 (2) 被災者データベース構築の取組みについて伺う。 (3) 宅地液状化を前提とする「リスクコミュニケーション」の取組みについて伺う。 (4) 大規模盛土造成地滑動崩落の対策と体制強化について伺う。						小松健康福祉 部長 石田危機管理 監 〃 濱田都市整備 部長
2 小学生向け副読本「(仮称)消防団のしごと」の作成について	近年の自然災害の頻発化に伴い、災害が発生した場合の初動対応は重要である。地域を熟知している消防団は消防団員確保のため、消防団員報酬の改善、企業や事業所との連携強化、広報等に積極的に取り組み、新入団員数の増加により、全体として緩やかな減少傾向にとどまっている。しかし、人口減少社会の中、消防団員の減少による地域防災力の低下が懸念されている。 そこで、現在行っている団員確保策の各取組みに加え、将来を担う子ども達に対し、郷土愛を育み、消防団の役割と必要性を理解してもらうため、タブレットの活用を視野に、小学生向けに漫画やイラストを取り入れた分かり易い副読本を作成する取組みについての考えを伺う。						太田消防長
3 安全安心なまちづくりと地域に貢献する三方原防風林活用について	三方原地域は強固な地盤による安全性や交通の要衝としてポテンシャルが高いため、一般住居や多くの企業の混住化が進んでいる。一方で、三方原地域には河川が無く、国営三方原農業水利事業により造成された各農業用幹線排水路が、今や都市下水路としての機能を担っているが、局地的豪雨により浸水被害が頻発し、地域住民・企業活動・農業活動に大きな支障を来している。 また、三方原防風林はマツノザイセンチュウによる松						

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	枯れが酷く、これにより初生小学校東側防風林が伐倒されたところである。 そこで、以下伺う。 (1) 国営三方原農業水利事業により造成された幹線排水路の管理体制の経緯と現状について伺う。 (2) 三方原地域内の幹線排水路流域の被害状況の認識と現状の流下能力の評価、今後の対応について伺う。 (3) 国土強靱化が叫ばれ、推進されている状況の中、三方原防風林の一部を貯留施設として活用・整備し、三方原地域の安全安心を確保する考えがないか伺う。 (4) 初生小学校東側の三方原防風林跡地の貴重な財産について、プロポーザル方式等により整備する考えについて伺う。	清水農林水産担当部長 〃 平井土木部長 山名副市長
4 交通安全施設について	本市は、残念ながら人口 10 万人当たりの人身交通事故件数が全国 20 の政令指定都市で 15 年連続ワースト 1 である。この状況の中、交通安全施設は極めて重要な施設である。令和 5 年 10 月 20 日付けの警察庁の通達では、「財政状況が厳しい中、限られた予算等の資源を重要性・必要性に応じて最適な形で配分することが重要である」とされているが、市内の横断歩道をはじめとする路面標示は摩滅し、信号機更新や新規設置は難しく、子ども達や市民の安全安心への不安が増大している。 そこで、以下伺う。 (1) 「ゾーン 30 プラス」の導入に向けた考えと方針、指定状況について伺う。 (2) 標準的ラウンドアバウトの導入は用地確保等の課題があるが、小型ラウンドアバウトの導入についての考えや取組みについて伺う。	平井土木部長
5 身寄りのない高齢者支援について	それまで普通に暮らしていた人が社会との繋がりを失い、ひとり孤独に死んでいく「無縁社会」が叫ばれて約 15 年、そして過日公表された令和 5 年の人口動態統計調査によると、全国で亡くなった人は約 157 万人強を超えて、過去最多を記録し、「多死社会」が到来している。特に、令和 5 年度に国の補助を受け実施した民間調査「身寄りのない高齢者の生活上の多様なニーズ・諸課題等の実態把握調査」では、身寄りのない高齢者は困った時に頼る人のいないリスクを抱え、高齢期から死後に対する包括的な支援体制を求めていることが分かる。 そこで、以下伺う。 (1) 本市における高齢者孤独死の状況や、引き取り手のない遺骨の状況、高齢者一人暮らし世帯数と課題について伺う。 (2) 高齢期から死後の問題に対する様々な相談や意思決	中野市長

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	定、行政手続き等の終活サポートに関する、総合支援体制についての取組みを伺う。	